

- さぬき市では、森林環境譲与税を活用することにより、森林整備における幅広い活動ができることから、造林事業や林道整備等を行い森林が持つ本来の機能回復や災害に強い森林整備を行う。また、林道台帳、橋梁台帳を電子化することにより、林道の状況を把握し、林産業の促進を図るとともに、災害発生時に発生箇所の位置情報を迅速に把握し、対応できる体制を整備する。
- 令和２年度には、以下の取り組みを行った。
 - ・ 森林整備を促進するために利用する林道について、林道橋梁台帳の電子化を実施した。
 - ・ 林道における支障木伐倒業務、林道維持修繕を実施した。

□ 事業内容

1 林道橋梁台帳の整備

- ・ 林道橋梁の改良及び修繕の履歴や現況写真を保管することで、計画的に維持管理を行い、また災害発生時に迅速に情報を把握、対応するために、紙媒体であった林道橋梁台帳の電子化を実施。

【事業費】825千円（うち譲与税825千円）

【実績】林道橋梁10ヶ所のデータの電子化



2 林道の支障木伐倒・維持管理

- ・ 林道の支障木伐倒、維持管理を行い、林道利用者の安全性を確保することで、森林経営計画に属する森林について間伐等の森林施業の促進を行った。

○支障木伐倒

【事業費】2,585千円（うち譲与税2,585千円）

【実績】林道小倉線の支障木伐倒

○林道維持管理

【事業費】1,488千円（うち譲与税1,379千円）

【実績】林道の崩土除去及び側溝清掃等

4 基金積立

- ・ 譲与税の執行残額については、後年度における効果的な森林整備等に充てるため、基金を設置し、全額積立を行った。

【積立金】8,411千円

□ 工夫・留意した点

- ・ すでに導入している、林地台帳と林道台帳に林道橋梁台帳をリンクさせることで、市内の森林や林道、林道橋梁をリアルタイムで管理できるようにした。
- ・ 森林経営計画対象森林に近接する林道を整備することにより、森林所有者及び森林整備作業等が安全に林道を利用できるようにした。

□ 基礎データ

①令和２年度譲与額	13,200千円
②私有林人工林面積（※１）	1,374ha
③林野率（※２）	51.8%
④人口（※３）	50,272人
⑤林業就業者数（※４）	55人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※２：「2015農林業センサス」より、※３、４：「H27年国勢調査」より